



ふかざわ  
深沢に建っていた当表門（長屋門）は、ドジ（土間敷きの納屋）とクラ（板敷きの穀倉）、そして門扉のある中央通路で構成されています。解体工事の時に、親柱の上ホゾから「天保九成年三月廿六日再建」の墨書が見つかり、別棟であったドジとクラを天保9年（1838）年に1つの建物（表門）として再建したことがわかりました。

世田谷区には現存する長屋門が少なく、当表門は区内では国指定重要文化財である大場家表門に次いで古い建物です。また当家に伝わる古文書類が火災などでほとんど焼失してしまっていることから、当表門は谷岡家の歴史を伝える貴重な資料といえます。



外観



ドジのようす

きゆうたにおかけじゆうたくおもてもん  
旧谷岡家住宅表門  
世田谷区指定有形文化財